

2017年度東海地区協議会研究会運営委員会 第2回議事録

日時 : 2017年7月14日(金) 14時00分～16時00分
場所 : 日本福祉大学東海キャンパス (6階 会議室5)
出席者 : 佐藤・石川(日本福祉大学)、前田(同朋大学・名古屋造形大学)、尾崎・澤木(名古屋女子大学)、古田(愛知大学)、榊岡(愛知工業大学)、田中(金城学院大学)、山際(皇學館大学)、近藤(中部大学)、石川(東海学園大学)、中田(名古屋学院大学)、石田(南山大学)、大橋(人間環境大学) 敬称略

議長は研究会運営委員長校の日本福祉大学の石川委員が担当した。

1. 図書館見学会について

(1) 参加者名簿、バス乗車表の確認

石川(宗)委員より、資料p1～2のとおり、運営委員を含め合計49名の参加者名簿及び2台のバス乗車表について提案があり、決定した。

(2) 参加事前アンケート回収状況報告

石川(宗)委員より、資料<別紙①>のとおり、参加事前アンケートの回答回収状況について、参加予定49名中7名が未回答との報告があった。回答締切日を過ぎる次週においても未回答者がいた場合は、個別に回答依頼を行うことで了承された。

(3) スケジュールについて

石川(宗)委員より、資料p3～5のとおり、事後アンケートを含めた図書館見学会に関するスケジュール(案)及び運営委員用としての図書館見学会当日のタイムスケジュール(案)について提案があり、決定した。

また石川(宗)委員より、当日のバスの動きにかかわり、次のとおり提案があり、決定した。

- ・バスは、貸切バス乗降場へ9時20分に入庫し、9時30分に出発する。ただし参加者が遅れて来た場合等に備え、遅くとも予約時間ぎりぎりの9時40分には必ず出発する。
- ・万一、参加者が9時40分を超えるような時間に到着見込みとなった場合は、午前の見学先大学である立命館大学衣笠キャンパスに、各自で直接来ていただく。

(4) 役割分担について

石川(宗)委員より、資料p6～7及び<別紙②>に基づき、運営委員の役割分担及び準備について、次のとおり提案があり、決定した。

- ・見学会当日朝は資料p6のとおり、全員で対応を行う。
- ・見学会全体としての役割は、<別紙②>に記載のとおりである。
- ・バス車内では、見学会担当が進行係を行い、1号車は石川(宗)委員、2号車は尾崎委員が担当し、バス移動の時間帯で事務連絡を行う。
- ・資料p7の準備にかかわり、参加者へ配布する資料として、参加事前アンケート結果、ランチマップを追加し、見学会タイムスケジュールに連絡事項の記載を追加する。また、カメラの準備を追加し、撮影担当の田中委員と石田委員にお願いする。

(5) 事後アンケートについて

石川（宗）委員より、資料 p8～12 のとおり、事後アンケートについて、見学会終了後 1 週間後を回答締め切り日として WEB で実施したいとの提案があり、決定した。

(6) 参加者への配布資料について

石川（宗）委員より、資料 p13～14 に基づき、提案があった。p14 の見学会タイムスケジュールについては、連絡事項の記載を追加するとの説明があり、決定した。

(7) その他

貸切バス乗降場の入庫位置や見学会用バスの特色に関する質問、台風等の場合における各大学との対応内容についての確認の必要性について意見が出されたため、石川（宗）委員より、当日バス車両が決定すること、貸切バス乗降場におけるバス停車位置は、空スペースに停車することになるが、バスのフロントに団体名として「私大図協東海地区協議会様」の表示を行う旨説明があり、了承された。また台風の場合の対応については、各大学担当者と当日の対応内容を予め確認しておくことで了承された。

2. 研究会について

(1) 開催案内、スケジュールについて

前田委員より、資料 p15～17 に基づき、次のとおり提案があった。

- ・開催案内は、10月6日を参加申込み期限として9月15日に東海地区協議会加盟館に出す予定で考えている。
- ・日時のところ、13:00～16:30を13:00～17:00に修正し案内する。
- ・松原講師の講演後10分間の質疑応答、同様に生川氏の事例報告後10分間の質疑応答を予定しその時間を含めた時間帯としている。
- ・事例報告後の情報交換では、グループによる座席指定により前後・左右の人で情報を交換する。

尾崎委員より、開催案内先として東海地区協議会加盟館だけではなく、例えば東海地区大学図書館協議会や公共図書館も追加しては、との意見が出され、両者に対しても開催案内を行うことについて決定した。なおメーリングリストは、委員長校の日本福祉大学が理事校の愛知大学と確認を行うこととなった。

中田委員より、開催案内の連絡先としては、過去の事例では委員長校ではなく、主幹事校としてきた、との指摘があり、連絡先として主幹事校の同朋大学とすることについて決定した。

また、講演後の質疑応答、事例報告後の質疑応答の時間をそれぞれ設けるより、一括して質疑応答時間を設けた方がよいのでは、との意見が出され、研究会担当で改めて全体時間配分について検討することとなった。

田中委員より、全体討議や情報交換の際の講師や参加者とのやり取りで運営委員がファシリテーターを行うかとの質問があり、前田委員より参加者自ら情報交換を行い、そこで出た質問を全体討議で講師に答えていただくこととし、情報交換の各グループに最低1名運営委員を配置して進行を取り纏めていただくが、現段階では全体のファシリテーターは行わないことを考えている。詳細は未定との説明があり、当日のタイムスケジュール及びグループによる情報交換の詳細については、次回運営委員会への継続審議となった。

(2) 作業分担について

前田委員より、資料<別紙③>に基づき、提案があった。修正点を示され、未定部分を含め、改めて次回運営委員会で提案することとして了承された。

(3) 事後アンケートについて

前田委員より、資料 p18～22 のとおり、事後アンケートについて提案があった。

公共図書館にも開催案内を出すことになったことを踏まえ、質問項目に館種を追加したらどうか、障害学生支援を行っていますかという質問に対する回答選択肢に「今のところ行っていない」というのは不要ではないか、どこまで障害学生支援を行っているか、などの尋ね方がよいのでは、との意見が出され、研究会担当で再度検討することとなり、了承された。

(4) その他

意見交換会の場所については、石川（貴）委員より、東海学園大学名古屋キャンパス付近で、原駅近く、または植田駅近くで検討中との報告があり、了承された。

3. コンテンツ係業務報告

田中委員より、資料 p23 のとおり業務報告があり、了承された。なお、実務担当者研修会の講師の名前に一部誤りがあったため、一旦記事を削除のうえ、修正原稿が準備され次第、ホームページを更新する予定との補足説明があり、了承された。

4. 2017 年度『館灯』について

澤木委員より、7月3日付で投稿申込締切日を9月29日として『館灯』56号掲載論文・記事募集依頼を行った旨、口頭にて報告があり、了承された。

5. その他

次回第3回運営委員会は、10月13日（金）14時から、研究会会場の下見を兼ねて、東海学園大学名古屋キャンパスにて開催することを確認した。担当者会議については別途個別に確認することとした。

以上

記録者：日本福祉大学 石川